

「英語が使える日本人」の育成のための行動計画(概要)

平成20年度を目指した目標

英語の授業

- 英語を使用する活動を積み重ねながらコミュニケーション能力の育成を図る
- 英語の授業の大半は英語を用いて行う
- 地域に英語教育に関する先進校を形成する

- スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール 平成17年度までに計100校を目標)
- 特色ある大学教育支援プログラム
- 英語教育改善実施状況調査 等

「英語が使える日本人」育成の目標

- 中・高等学校を卒業したら英語でコミュニケーションができる
- 大学を卒業したら仕事で英語が使える

英語教員

- 概ね全ての英語教員が、上記の授業を行うことのできる一定の英語力及び教授力を備える
- 中・高等学校の英語の授業に週1回以上はネイティブスピーカーが参加する
- 英語に堪能な地域の人材を積極的に活用する

- 英語教員が備えておくべき英語力の目標値の設定
- 全英語教員に対する集中的研修
- 海外研修の充実(2ヶ月枠を創設)
- 優れたALT等の正規教員への採用促進 学校いきいきプランの推進等

モチベーション

- 毎年10,000人の高校生が海外留学する
- 授業以外で英語を使う機会が充実する
- 英語を用いて世界へ情報発信するなど、国際交流を一層活発にする

- 高校生留学の促進 1,000人対象に支援)
- 外国語長期体験活動推進事業
- 国際交流を推進する情報提供活動等

入学者選抜等

- 聞く及び話す能力を含むコミュニケーション能力を適切に評価する
- 大学や高校入試において、リスニングテスト、外部検定試験の活用を促進する

- 大学入試センター試験のリスニングテスト導入(18年度実施を目標)
- 大学・高校入試での外部検定試験結果の活用促進 等

小学校英会話活動

- 総合的な学習の時間などにおいて英会話活動を行っている小学校について、その実施回数の3分の1程度は、外国人教員、英語に堪能な者又は中学校等の英語教員による指導を行う

- 小学校英会話活動推進のための手引の作成
- 経験豊かなALTや地域人材の活用促進
- 今後の小学校英語教育の在り方に関する研究 等

国語力の向上

- 英語によるコミュニケーション能力の育成のため、すべての知的活動の基盤となる国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成する

- 国語力向上モデル事業
- 子どもの読書活動の推進
- 「われからの時代に求められる国語力」の検討(文化審議会) 等

実践的研究

- 英語教育の改善のための取組が着実に推進されるよう、中・高・大学の英語教育に関する実践的研究を総合的に実施

- 中・高等学校段階で求められる英語力の指標
- 中・高等学校における英語教育及び教員の研修プログラム
- 英語教員が備えておくべき英語力の目標値
- 大学の英語教育の在り方
- 諸外国における英語教育の取組